

平成 28 年度 学校評価・学校関係者評価実施結果報告書

岡山県理容美容専門学校

1. 教育目標

本校は、実践的な理容・美容の職業教育を行い、これからの社会のニーズに対応できる優れた理容師・美容師を養成する理容美容専門学校である。

そのためには、一人一人の学生に基礎技術から専門的な技術・技能・知識の修得が出来るよう教育環境を整え、その中で理容・美容業の厳しさや楽しさなども体得させながら、理容・美容業に誇りを持った学生の育成に努めなければならない。そして、何より、理容・美容業がお客様に満足してもらえ技術とサービスを提供する業であることを認識させなければならない。

そこで、本校では従来から次の教育目標を掲げている。

- ・誠意----すべてのお客様に対して、真心を持って接することができるよう、日常において接客の心構えを持たせる。
- ・熱意----いかなる時でもお客様が満足できる結果が得られるよう、一生懸命頑張れる精神力を養う。
- ・創意----お客様に満足してもらえ必要な知識、技術、快適な施設や設備など、常日頃からよりよいものを創り出そうとする意識を持たせる。

これらの教育目標は、在学中はもとより理容・美容業に従事する上で、生涯持ち続けてほしいと願っている。

2. 本年度の重点目標と計画

① 国家試験の全員合格

理容科は、全員合格という目標をほぼ毎年達成している。今後も気を抜くことなく全員合格を目指していく。また、美容科においても、強化対策が功を奏して近年合格率を上げてきている。さらなる実技課題の徹底練習と筆記試験対策を充実させ目標達成を目指す。

② 理容・美容業界と連携の強化

本年度も昨年度に引き続き、理容・美容業界と連携し、接客分野・技術分野・衛生分野において、インターンシップを行う。また、校内においても業界派遣講師と連携し、多様化する専門知識と優れた技術の修得ができる理容・美容実習を行っていく。

③ 各種コンクールへの参加

平成 30 年度の全国学生技術大会(岡山大会)に向けて、その競技種目でのレベルアップに

力を入れていく。その一環として学生には、全員参加の校内コンクールで互いに競い合い、その先にある校外コンクールへの積極的参加を促していく。これにより、目標に向けての努力やチャレンジ精神を身につけさせる。また、本校の理容・美容教員による種目別指導体制を充実して、本校学生の技術力向上に向けて取り組んでいく。

④ 高齢者・障害者に対する実践教育の充実

わが国の人口の26%を高齢者が占めるなか、理容・美容業界においても高齢者・障害者の方々に対して、店内における介助や施術の流れが求められるようになってきた。

そこで、本年度は旭川荘厚生専門学院介護福祉学科と授業連携し店内において、車椅子や杖を使用する高齢者・障害者の介助方法などを演習し、福祉社会の一員としての理容師・美容師の育成を目指して実践教育を行っていく。

⑤ S B S 検定資格の取得

全日本美容業生活衛生同業組合連合会の評価認定制度 S B S 認定校のメリットを最大限に生かし、学生にはエステ・メイク・着付けなどの検定受験を積極的に促し、付加価値の高い美容師を養成していく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

番号	評価項目	評価
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1 0
1-2	学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1 0
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1 0
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

本校の教育理念・目的等や学校の将来構想に対して、ここ3年間は周知徹底を図ってきた。これにより、教職員は共通理解と目標の共有が概ね達成できたと思われる。

しかし、1-4の項目においては保護者等への周知が、いまだ十分とはいええず、今後とも保護者等には、あらゆる機会を通じてアウトバウンドコミュニケーションをとる必要があると思われる。

② 今後の改善方策

学生には、理容・美容実習やホームルームのなかで、保護者に対しては、後援会やホームページなどで学校の理念・目的・育成人材等の周知に努めたい。

(2) 学校運営

番号	評価項目	評価
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1 0
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1 0
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか	④ 3 2 1 0
2-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④ 3 2 1 0
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1 0
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1 0
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1 0
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

平成 28 年度の学校運営方針は、前年度末の学園理事会において、運営方針と事業計画が決定され、その後の職員会議において校務分掌とともに教職員に示されている。

また、日常の教育活動等に関する情報公開もホームページ上でいち早く公開している。

就業規則・給与規定・産休・育休などの規定も整備され、教職員が勤務に安心して専念できるよう整えている。教員組織も正常に機能し、職員会議や職員終礼において意思決定を行い教職員相互の情報交換及び共通認識を十分に図っている。

② 今後の改善方策

地域社会等に対するコンプライアンスでは、自動車通学における違法駐車、速度超過、騒音や自転車通学のマナーなど、交通法規の遵守を呼びかける。

また、定期的に近隣の清掃を行うとともに、ゴミのポイ捨て禁止、近所の方々との挨拶、高齢者へのいたわりなど奨励していく。

(3) 教育活動

番号	評価項目	評価
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1 0
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1 0
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1 0
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1 0
3-5	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置付けられているか	④ 3 2 1 0
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1 0

3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1 0
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1 0
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1 0
3-10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1 0
3-11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1 0
3-12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

職業実践専門課程としての理容・美容業界との連携は、より高度なカット、スタイリング等の技術力を修得し、即戦力となり得るシャンプー、ワインディング、浴衣、留袖着付などを実施してきたが、さらに、一層の技術レベルの向上と各種検定等を取得し付加価値の高い理容師、美容師としてのスキルアップが求められる時代となってきた。

また、教員の資格研修、学生指導力の強化、研究授業をはじめ学級経営における実践的指導力の向上など教員の資質向上に向けて積極的に取り組む必要がある。

② 今後の改善方策

評価項目 3-8 においては、理解が不十分な学生が増えてきたようなので、再度学生に十分周知させ、遅刻・欠席等による補講や、成績不振等による再試などが無いよう徹底させたい。

また、インターンシップの評価を各学生と再確認し今後の実習や卒業後の職場での接遇・接客マナーに役立てていく。

(4) 学修成果

番号	評価項目	評価
4-1	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1 0
4-2	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1 0
4-3	退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1 0
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

平成28年度3月卒業(昼間課程)の国家試験合格率は、理容科100%、美容科97.2%となり、2科とも昨年度を上回り資格取得率の向上が達成出来ている。

また、本校の合格率は毎年全国平均を上回る成果をあげている。就職率は希望者全員が就職を達成するなど良好である。

② 今後の改善方策

卒業生に対しては、定期的に連絡が取れる体制を構築し、就労状況やコンクール等の活動状況など情報収集を行う。また、理容・美容業界で活躍している卒業生を本校に呼んで、先輩としての技術披露や体験を話してもらい後輩の育成に尽力を願いたい。

(5) 学生支援

番号	評価項目	評価
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1 0
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 0
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1 0
5-7	保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1 0
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1 0
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1 0

おいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

学生に対する支援活動では、各項目において教職員が一丸となって取り組んでいるので、その評価も高いものになっている。とりわけ、本校では本校独自の後援会と協力し各種目の校内コンクールや理容美容実習における教育振興の補助を行っている。また、全国理容美容学生技術大会出場者の派遣費補助、用具用品の補助など個人負担の軽減も行っている。

理容・美容の技術に対するモチベーションを高めるためにも校内コンクールや理容・美容組合のコンクールなどに参加し自己のレベルアップをはかることは大変重要なことであるので、さらにその支援体制の充実を整えていく。

なお、卒業生に対しては昼間課程・通信課程にかかわらず、理容業・美容業で従事するとともに、この業界で活躍できるよう支援しなければならない。そのためには、本校のみならず、本校同窓会とも協力し会報誌や各種行事を計画し卒業生との繋がりが良好に維持できる環境整備が求められる。

② 今後の改善方策

本校における学生支援では、学生の学校生活や健康管理、就職などの相談に対し、担任だけではなく担当教員を置いて支援にあたりたい。また、卒業生に対しても国家試験が不合格の場合の無料講習や再就職の相談など、これも担当教員を置いて支援体制の充実を行う。

(6) 教育環境

番号	評価項目	評価
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1 0
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1 0
6-3	防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

教育環境における施設・設備は大変充実しているが、設備機器によっては経年劣化による老朽化が進んでいるので、日頃のメンテナンスに気を配り、学科授業や実習等に支障が出ないよう注意していく必要がある。

学外でのインターンシップでは、理容・美容組合との職業教育協定により実践指導は万全であり、その教育体制確立されている。また、インターンシップ終了後は学生と反省会を開き、次のインターンシップに向けて、しっかりと問題点を解決し有意義な成果が出るようにしなければならない。

② 今後の改善方策

平成 31 年に開学予定の専門職大学においても企業との実習が大変重視されているようなので、専門職である理容師・美容師を養成する本校としても、一層のインターンシップの充実を図り理容所・美容所の現場に即応できる体制を推し進めていく。

(7) 学生の受入れ募集

番号	評価項目	評価
7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④ 3 2 1 0
7-2	学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1 0
7-3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④ 3 2 1 0
7-4	学生納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

高等学校への情報提供では、昨年と同様に県内高等学校進路課に年 3 回程度訪問して、本校の現状や在校生の状況を報告するとともに、平成 29 年度募集要項を配布した。

また、県外高校生に対する活動では、過去に入学したことのある高等学校及び近隣高等学校を訪問し情報提供を行っている。

さらに、高等学校内で実施する進学相談会などに積極的に参加し直接高校生に理容・美容分野の説明を行っているので、本校の情報提供は適正かつ正確に提供できたものと思う。

② 今後の改善方策

昨今は、高等学校内で実施する体験型説明会や入学までもない高校1年生に対しての分野型説明会が増えてきた。早くから職業意識を芽生えさせ進路決定に役立てる流れがあるように思う。本校においても、サービスの多様化する理容業・美容業及び、本校で学ぶ教科や国家試験など、正確な情報を高校生に提供していく。

(8) 財務

番号	評価項目	評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1 0
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1 0
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1 0
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

例年と変わらず、本校の学園会計を指導する指吸会計センターから、本年度の学園会計は健全であり財政基盤は安定していることの報告を受けた。また、学園監事により学園・学校運営や資金収支においても適正であることの監査報告を受けている。なお、これからもより一層の透明性と健全経営を図っていく所存である。

② 今後の改善方策

学生にとって魅力ある学校経営を続けるには、学園の財政基盤の安定が不可欠である。

その為にも、2018年問題、いわゆる18歳人口の減少化が避けられない状況にあることを鑑みて常に成長戦略を模索し一定数の学生確保に努めなければならないと思っている。財務状況の公開は、平成27年度からホームページ上で情報を公開している。

(9) 法令の遵守

番号	評価項目	評価
9-1	法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1 0
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1 0
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1 0
9-4	自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

① 課題

例年通り、理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則及び専修学校法に基づき適正に運営を行っている。個人情報保護対策ではセキュリティソフトの導入や書類管理の徹底などを行っている。学生アンケートを前期・後期に2回実施し、各分類項目の分析を行い問

題点の解決をはかった。また、教職員による自己評価の結果に基づいて、学校関係者評価委員会において、客観的評価を得て学校運営の改善を行っている。

② 今後の改善方策

次年度においても、関連する業界団体と連携協力し、自己評価での問題点や学校関係者評価での提言を受け入れて、よりよい学校づくりに励んでいきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

番号	評価項目	評価
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1 0
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1 0

おおいに肯定的-4 やや肯定的-3 やや否定的-2 おおいに否定的-1 わからない-0

③ 特記事項

本校では、物理的・時間的に許す限り社会貢献・地域貢献や他の教育機関との連携授業並びに施設使用の提供を行っている。

- ・豪雨災害時における緊急避難場所-----岡山市大元学区連合町内会
- ・チャレンジワーク！お仕事体験教室-----岡山市立福田公民館
- ・おかやま教育支援活動メニューフェア-----岡山県教育委員会
- ・ふれあいまつり 2016 赤い羽根チャリティーバザール ---岡山市社会福祉協議会
- ・理容科交流実習-----岡山県立岡山豊学校
- ・うらじゃ祭り(うらじゃ踊り参加とメイクボランティア) ---うらじゃ実行委員会
- ・65 歳以上の親睦会場-----岡山市北区大元「若草町 よつ葉サロン」

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

平成28年度の学校運営について、在学者数並びに入学者数は昨年同様順調であり学校運営の安定的基盤を築いている。

また、本年度は美容科の美容コースとトータルビューティーコースの学生が卒業した年でもある。とりわけ、国家試験においてはトータルビューティーコースの学生が全員合格し美容師免許を取得した。付加価値の高い美容師を育成し時代のニーズに応える美容科となっている。

さらに、職業実践専門課程として理容・美容業界と密接に連携し、講師派遣による実習や国家試験対応の検討など積極的に取り組んできた。その成果は近年では最も高い美容師国家試験の合格率に反映されている。引き続き平成29年度においても、学生の職業意識と技術力の向上に取り組む、個々のスキルアップを図るよう行っていく。